

Smile & Heart

浜田医療センター情報誌 スマイル&ハート vol.38

ホームページ <http://www.hamada-nh.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>
🔍 浜田医療センター で検索！

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り
ください

2017年 7月号

特集／放射線のおはなし

診療部長(放射線科) 吉田 弘太郎

病院にはどんな仕事があるのかな？
～管理栄養士～

シリーズ

医療機関・介護施設のご紹介

- ・総合福祉施設 ミレ岡見
- ・医療法人社団 介護老人保健施設 アゼーリみずすみ

地域人vol.24

地域によりそって育む心

ワークくわの木 かなぎライディングパーク 所長 大石 寿

地域のホスピタリティを訪ねて

Halau Hula O Lehua 'Ula 島根担当 hina



特集

放射線

のおはなし

診療部長(放射線科)

吉田 弘太郎

【よしだ・こうたろう】

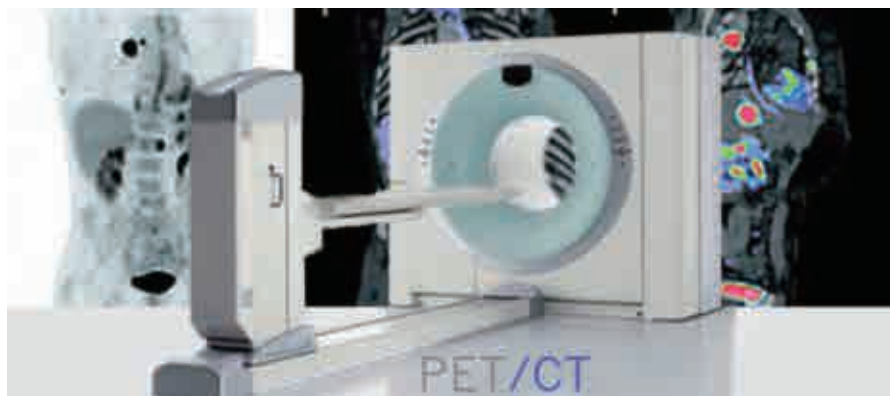
鳥取大学医学部：昭和62年卒業
・日本医学放射線学会 放射線診断専門医
・日本核医学会 PET核医学認定医
・日本医学放射線学会研修指導者

はじめに

病院などの医療機関の内部には診療放射線が様々な領域に使用され、臨床検査、病気の診断や治療など日々の診療に欠かせないものです。平成21年に新病院に移転して多くの放射線診断機器や治療機器が新規導入あるいは更新されましたが、使用可能の機器はそのまま移転して使用しております。これらの機器も順次新しいものに更新されています。

新規に導入されたものにはPETCTがあり、更新されたものとしてx線撮影装置、320列ADCT、3TMRI装置などが上がります。2台目の血管撮影装置も今年度の後半には新規導入され稼働予定です。

浜田医療センターの新設、更新された機器を中心に紹介して、放射線機器がどのように活用されているかを簡単に説明させていただきます。



浜田医療センターの理念

「心のこもった、
情のある医療」

基本方針 1. 健康を守る
2. 高度な医療
3. 地域連携

患者さんの権利

- ・人格・価値観が尊重される権利
- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報を得る権利
- ・自己決定の権利
- ・個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<http://www.hamada-nh.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索！

contents

- 2~4 特集：放射線のおはなし
- 5 病院にはどんな仕事があるのかな？
- 6 地域人 vol.24
- 7 浜田を楽しく歩こう No.8
- 8~9 シリーズ：医療機関・介護施設のご紹介
- 10 研修医だより
- 11 認定看護師の活動について
- 12 最新鋭・CT装置が稼働！
- 13 地域のホスピタリティを訪ねて
- 14~15 看護学校だより
- 16 看護学校 平成30年入試試験情報
- 17 ボランティア総会の開催報告
市民公開講座の予定について
- 18 面会について／健康レシピ
- 19 募集／奨学生募集
- 20 外来診療担当医表



放射線が医療に利用されるようになった頃から行われている単純x線撮影、x線透視・造影x線検査ですが、新しい機械ではx線フィルムを使用せずイメージングプレートやフラットパネルという検出器を用いて、画像をデジタル化してモニターに描出しています。撮影機器サイズは縮小されており、デジタル処理での画質の向上や被曝の低減が図られます。フィルム交換などの時間も必要なくなり検査時間や待ち時間が短縮されることとなります。診療の現場でも様々な場所で電子カルテでの閲覧が可能です。昔のように重いフィルム袋を運ぶ必要もありませんし、それを保管する倉庫などの無駄なスペースが解消されました。

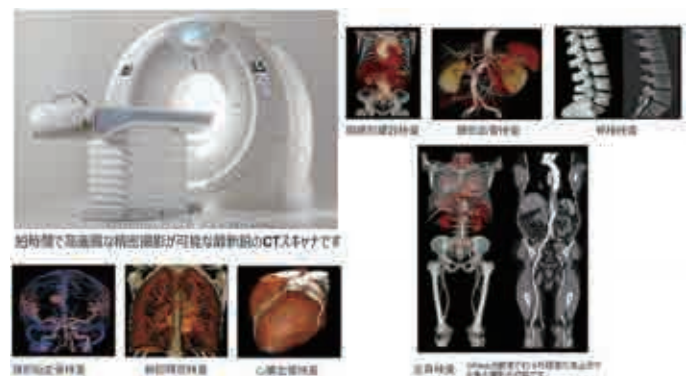
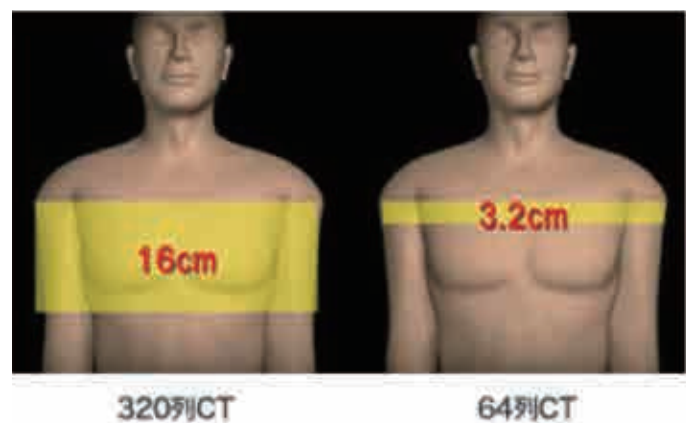
x線CTは放射線を用いて人体の輪切り像(断層像)を撮影して体の内部に起こっている変化をとらえる画像です。輪切り像だけではなくて広範のデジタルデータを利用して3次元的な画像も作成可能です。事故・外傷など救急疾患や原因の特定されない疾患の診断、現在ある病気の経過観察などが行われています。いろいろの診療の場面で大いに用いられており、当院では年間に延べ1万3千件を越える患者さんでCT検査が実施されています。

平成29年5月に2台あるCT装置のうちの一が更新されました。320列ADCTと言われ、体を透過した放射線の吸収データを320列の検出器で受けてデジタル信号に変換するArea-detectorが搭載されたものです。今まで当院のCTでは人体一回転の放射線照射で64枚、16枚(64列・16列)の画像が作られましたが、今度のは一度に320枚の画像が作られます。検査時間の短縮や検査のための呼吸停止が短くなり、呼吸や心臓の機能の悪い患者さんや呼吸の止められない患者さんでもブレのない鮮明な画像が得られることとなり、正確な診断が可能となります。

小さな臓器(脳や心臓、腎臓など)では一回転(最速0.25秒)で検査が終了してしまうこととなります。今までの機器では心臓や血管など数回に分けて撮影していました。造影剤という薬剤を血管内に投与して血管や臓器

を浮き上がらせるときに、その濃度やタイミングが異なると本来の病変が描出されないことや、本来はない病変があるように描出されることもありました。新しいCTではタイミングや濃度のずれのない撮影可能となり、詳細だけでなく本来の病変の確認に有効となります。脳血管障害、心大血管(脳動脈や心臓冠動脈の3次元画像など)の正確な診断が可能となります。

治療後の経過観察のため年に数回CT検査を受けられる患者さんもおられ、被曝の低減は重要な課題となります。放射線照射が短くなり、被曝も単純に64列CTの1/5となる計算です。さらに放射線吸収などについての最新のソフトや装備が搭載されて低線量が図られ、今までにない高画質と空間分解能の飛躍的な向上が図られています。



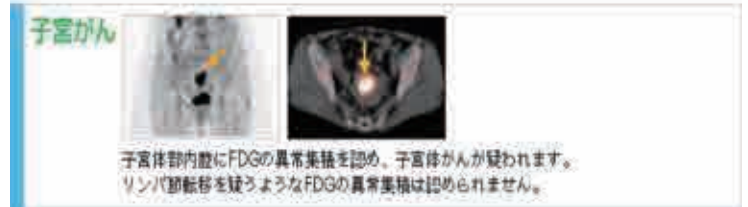
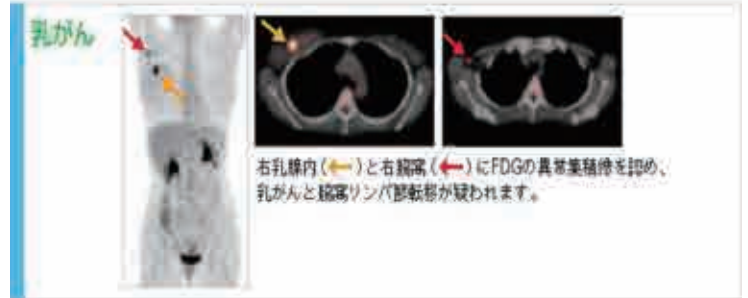
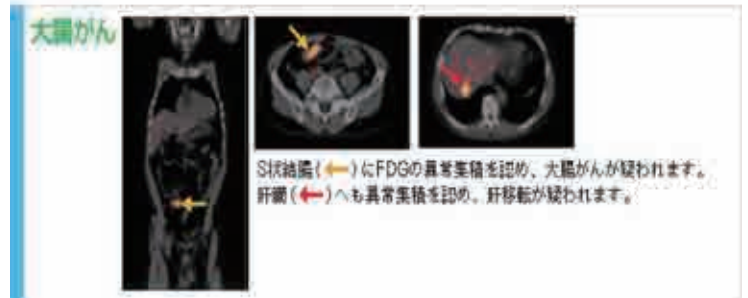
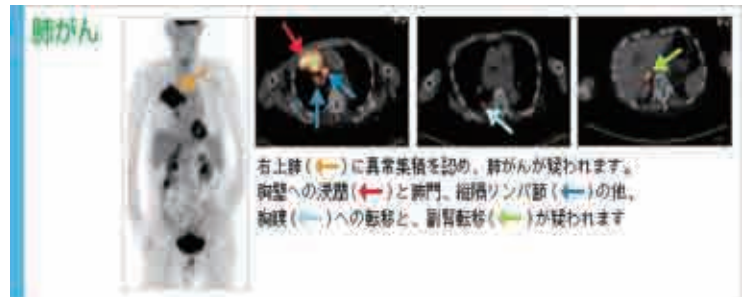
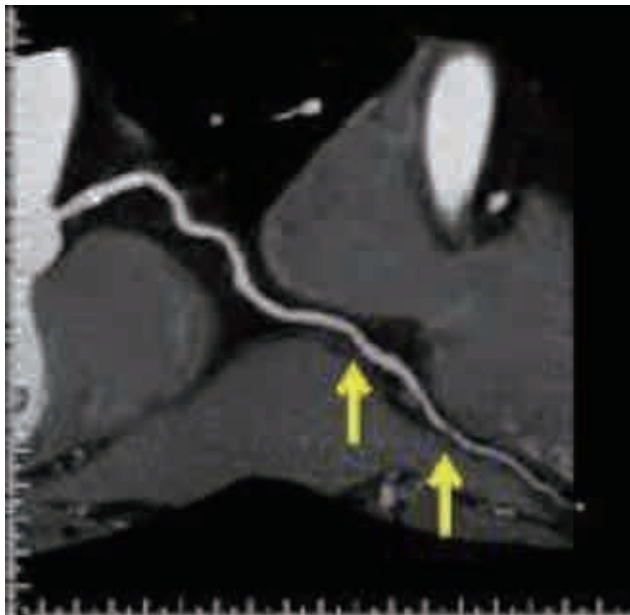
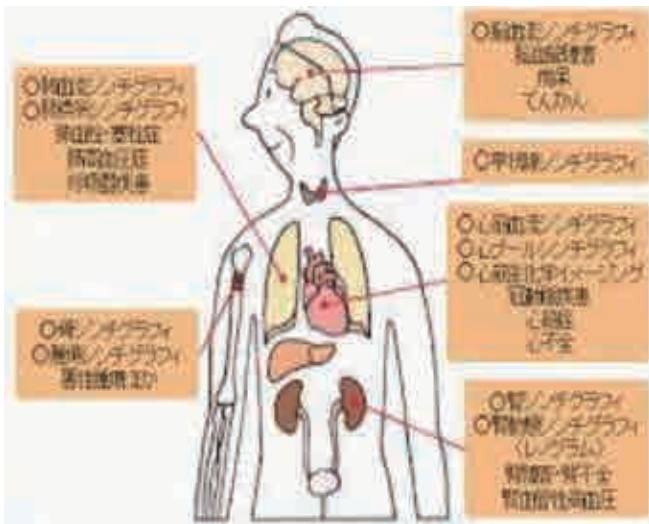
一般の方には聞きなれない言葉ですが、核医学は放射性同位元素(ラジオアイソトープ、RI)および放射性医薬品など少量の放射線を出す医薬品を投与し、その存在部位を体外から観察することにより、体内臓器の機能や血流、腫瘍や炎症部位を把握して病気の診断を行う放射線分野です。増加している核医学検査として、脳血流シンチを用いた認知症の診断や非侵襲的に心筋血流を評価する心筋シンチ、発熱や感染の原因となっている部位を特定する炎症シンチ、腫瘍の診断のための腫瘍シンチ、骨転移がん診断のための骨シンチなどが上がります。

ブドウ糖に似た構造の薬剤で糖代謝の亢進した腫瘍の進展度や治療後の再発病変を早期に診断するPET検査も核医学検査の一つです。がんや腫瘍では病気の進み具合や広がりにより治療の方法が異なるため、患者さんには広がりや評価のためいくつもの治療前検査を受けていただく必要がありました。すべてを省略できるわけではありませんが、PET検査により少ない検査で腫瘍の治療が可能となっています。治療後の再発や転移などの把握のためにも定期的にPET検査が行われています。腫瘍マーカーなどの上昇で転移が疑われるのに従来のCT、MRI

検査などで特定されないときなどにも病巣の確認ができることがしばしば見られます。

血管撮影装置は全身の血管系診断や血管内治療に使用される機器ですが、その血管撮影件数は増加しており、これらに対応するための対策が必要です。一日に何件もの検査治療を予定した場合、最後となる患者さんは日付が変わる深夜まで待ついただくこともあります。救急患者さんの血管内治療が必要となった場合、緊急性が高い場合には現在行っている患者さんの検査治療を中断して対応しているのが現状です。平成29年7月から血管撮影装置が1台新規導入され、現在の一台と合わせて2台稼働の予定です。2台体制となれば2台同時に稼働することも可能であり、終了時間が早くなることが期待されます。緊急の患者さんの対応も可能となることでしょう。

浜田医療センター放射線科では、診療と切っても切れない放射線機器がその性能を発揮して、故障や誤作動なく、患者さんの診断や治療ために役立ちますよう日々の業務に努めてまいります、今後ともよろしくお願いたします。





病院には どんな仕事があるのかな？

病院は、病める人を社会復帰させることを目的とし、医師をはじめとする多くの職員の連携と協力による「チーム医療」に取り組んでいます。病院の中には、さまざまな業務があります。

医局・看護部・薬剤部・検査科・栄養管理室・放射線科・リハビリテーション科・臨床工学科・事務部・地域連携室などで働いている専門職種がチーム組んで、それぞれの専門分野での経験や知識、技術を集約して、患者さんに最も適した最新の治療にあたっています。

また、適切なアドバイスや必要な情報提供を行って早期社会復帰への手助けをしています。

FILE: 05 管理栄養士 Registered Dietitian

働いている方に
INTERVIEW

管理栄養士の仕事

～ 管理栄養士・細谷さんに聞いてみた ～

管理栄養士を目指した理由

きっかけは、進路について悩んでいた時に母から「管理栄養士はどう？」と提案されたことでした。過去に家族が食事指導を受けたことがあったのですが「食べる量をとにかく制限する」治療方法に衝撃を受けたのを思い出し、食事療法について興味をもったことから管理栄養士を志しました。今でも自分の未熟さに悔し涙を流すこともありますが、食事の面から皆様をサポートできるように日々勉強しています。

業務内容は？

管理栄養士の仕事内容は大きく分けて「給食管理」、「臨床栄養管理」の2つです。

1. 給食管理

献立作成、食材発注、調理などを行うのが給食管理です。当院では外部業者に業務委託(=お任せ)しています。委託にするメリットは、管理栄養士が臨床栄養管理に関われる時間を大幅に確保できることにあります。

2. 臨床栄養管理

浜田医療センターに勤める管理栄養士の主な業務が、この臨床栄養管理です。

① 栄養指導(入院・外来・集団)

糖尿病食や腎臓病食などの特別治療食を召し上がっている方や栄養・食事に関する問題を抱えておられる方を対象に、食事療法についてお話しします。疾患や生活習慣に

管理栄養士
細谷 美紗
(5年目)



よって注意すべきことが異なるので、1人ひとりにあったオーダーメイドの栄養指導を心がけています。

② 栄養・食事相談

食欲不振や食事に関する不安を持たれている方のもとへ伺い、喫食状況の把握や嗜好調査をもとに、個別に食事対応を行います。

③ チーム医療

栄養サポート(NST)、糖尿病、院内感染抑制、医療安全対策、緩和ケア、褥瘡対策などのチームの一員として活動しています。

ここでは紹介しきれませんが、他にも栄養管理計画書の作成や特定保健指導、適時・適温調査、院内外の講演などを行っています。

目標・やりがい

私は臨床の場で働きたくて国立病院に入職しました。患者さんが抱えている悩みや不安を解決するお手伝いが直接できる臨床の現場にやりがいを感じています。食事に関する資格は数多ありますが、病院に勤める管理栄養士だからこそできる気づき、関わり、働きかけで皆様の健康増進にお力添えになればと考えています。

地域人

vol. 24



「地域によりそって育む心」

ワークくわの木 かなぎライディングパーク 所長 大石 寿
(おおいし・ひとし)

今回の「地域人」は、「ワークくわの木 かなぎライディングパーク」所長の大石 寿さんをご紹介します。

平成7年から第三セクターで17年間運営した後、平成24年から、社会福祉法人いわみ福祉会が地域振興と福祉を兼ねて再スタートして5年目となります。

法人理念として、

- ・人として重んじられる施設づくり
- ・福祉や人についての誤った考え方を変えていきたい
- ・この人たちの持つ可能性を追い求め続けたい
- ・地域の必要性にこたえていきたい
- ・地域とのつながりを大切にしたい

の5つの願いを掲げてサービスを提供しています。

当施設は、一般のお客様が気軽に乗馬が楽しめる馬を15頭飼育しています。合わせて、一般乗馬の他に馬を使った「ホースセラピー」を実施しています。「ホースセラピー」は、調教された馬とのふれあいや、乗馬することで心の健康に効果をもたらすという心理療法で、発達障がいや、不登校や引きこもりの子どもさんから、自律神経失調症や不眠症、うつ病などの精神疾患にも効果があると考えられています。

最近では、膝などの下半身に負担をかけずに運動することができることから、肥満や糖尿病の運動療法などにも取り入れられ、「心理的」「教育的」「身体的」の効果が期待されています。学校に行けない、不登校の子どもさんは、本人も辛いでしょうが、親御さんも辛い。「ホースセラピー」が改善の一助になればと思います。

当施設は「就労継続支援A型」として、障がいを持っておられる13名の方を雇用しています。一般の事業所に雇用された経験を持つ方や、学校を卒業してすぐに一般の事業所で就労することが不安な方も働いています。与えられた仕事を淡々とこなすことではなく、犬ほど懐かず、猫ほど自分勝手でない馬という大きな生き物を相手に仕事をするところから、動物を通じて信頼関係を築くことを学ぶことができます。トレーニングが進めば、施設内にレストラ

ンもありますので、そこで接客業も行います。やがて働くことで地域に貢献しているという意識も芽生えてきます。

敷地内は、乗馬施設、焼き肉バイキングレストランの他にオートバイ神社もあり全国からたくさんのライダーが訪れ、観光の部分にも力を入れています。「浜田市は障がい者や人にやさしい街」という事をアピールしたいですね。「ホースセラピー」の可能性として、全国から障がいや心を痛めている方などが集う場の一つとして発展させていきたいですね。それが交流人口の増加、ひいてはUターン、Iターンに繋がれば、なお嬉しいですね。

～取材を終えて～

夢に向かって活動している方は輝いて見えます。大好きな馬に囲まれて、とても素敵な笑顔で丁寧に取材を受けてくださいました。今後も活躍をお祈りしています。





浜田を楽しく 歩こう

健康なカラダを維持するために必要な、適度な運動を、より楽しくより長く継続していただけるように、浜田市内のオススメのウォーキングコースをご紹介します。

●問い合わせ先
浜田市役所 弥栄支所 産業建設課 産業振興係
☎0855-48-2112



walk
No.08

『老巨木と里山をめぐる』 ウォーキングコース

距離 約6km
所要時間 約90~120分

今回は、弥栄町長安本郷の浜田市弥栄支所を発着点として、老巨木と里山をめぐるコースをご紹介します。コース内の、2か所の老巨木は次のとおりです。

■長安本郷の八幡宮並木杉 (県指定天然記念物)
鳥居から山頂の社殿への並木杉のうち5本の老巨木が現存し、かつての並木杉の名残で、この辺り一帯がうっそうたる森林であったことが想像されます。
(推定樹齢：600年以上・樹高：32m・株周り：6.4m)

■門田 カツラの木
春の芽吹きは、他の木より一足早く醤油の香りがし、別名「醤油の木」とも言われている。うっそうとそびえるこの木は、50数本もそびえ立ち、所狭しと根を張り、

二つの大株があります。春・夏・秋・冬、それぞれ異なった雄姿を望むことができます。
(推定樹齢：600年以上・樹高：26m・株周り：28m)

里山の魅力は空、山、田んぼ等それぞれの自然を楽しむ所です。この自然が生んだ弥栄の人気商品のどぶろくの話をして。「ふるさと弥栄どぶろく特区」は、平成17年11月に中国地方初のどぶろく特区として認定された町です。現在は3軒のどぶろく特区の事業所が弥栄の自然と特性を活用し、自ら生産した米と豊かなおいしい水を原材料としてどぶろくを製造しています。

最後に、ウォーキング後の楽しみ、おすすめの昼ご飯を紹介します。車での移動が必要ですが、きっと体と心の疲れを癒してくれます。

●運動前には健康チェックを行いましょう ●動きやすい服装で運動しましょう ●自分のペースで無理をせず、交通ルールを守って安全対策に努めましょう

Clinic Introduction

Vol.6

豊かな人間性を育み利用者を理解し受け入れること

今回ご紹介する施設は、浜田市三隅町の「総合福祉施設ミレ岡見」です。

平成14年の開設以来、職員は法人の理念である“「人」としての尊厳にふさわしいサービスを提供していきま”を絶えず頭に置きながら利用者の支援を行っています。“「人」としての尊厳にふさわしい”とはむずかしい言葉ですが、私なりに言い変えると、その人の生きる力を尊敬の念を持って支えていくことだと思えます。職員は現在69名で、事業としては「特別養護老人ホーム」57床、「養護老人ホーム」23床、「ヘルパーステーション」を運営しています。

「ミレ岡見」が目指しているものは、どの職員が対応しても同じ良質のサービスを、どの利用者へ対しても提供できることです。そのためには、まず職員の「豊かな人間性」を育てることだと思えます。「豊かな人間性」とは、人間として持つべき素晴らしい資質で、わかりやすく言えば愛やおもいやり、親切、やさしさ、正直さ、協調性、責任感、信頼感といったものです。

「豊かな人間性」を持つ職員は、利用者(自分とは違う人たちや弱い立場の人たち)を理解して受け入れ、利用者と共に生きてゆくための努力を惜しみません。その上で介護技術等の底上げをはかっていければと思っています。

また必要時には家族へきめ細かく利用者の状態を伝え、信頼関係を築き、家族と職員が一緒になって、利用者がより豊かな生活ができるように努めていきたいと考えています。そして利用者「ミレ岡見」で安心して人生の最後を迎えたいと思われる施設を目指します。

介護業界の慢性的な人材不足は、みなさんご存知の事と思います。介護人材不足で事業所を閉鎖せざるを得なくなったところや、新しく事業所を開設しても職員が集まらないために満床にすることができない事業所も出てきています。それほど業界全体が厳しい状況になっていると言えます。

「ミレ岡見」も職員が足りない状況はありますが、そのために利用者へのサービスが低下することは、絶対にあってはならないと考えます。そのためには職場環境を充実させ、視点を変えて、これまでのやり方をいろいろな面から見直していく必要があります。

職員が、自分が働いている事業所を好きになり満足していれば、利用者へより良い支援・サービスが提供でき



て、利用者も満足できると考えます。職員が笑顔で仕事できれば、利用者にも笑顔が増えてきます。そのためには他の事業所よりも職員が働きやすく、居心地の良い職場づくりをしていこうと思えます。



社会福祉法人いわみ福祉会
総合福祉施設 **ミレ岡見**

施設長 谷口 智司

〒699-3226
島根県浜田市三隅町岡見700番地
☎0855-32-3900 FAX0855-32-3910

自らが受けたいと思う医療と福祉の創造の実現を！

次にご紹介する施設は、浜田市三隅町の「アゼーリみずすみ」です。施設長は、岩永幸夫医師です。

介護老人保健施設ですので「診療」は行っていませんが、あえて科目を申し上げるとすれば「老人科」でしょうか。介護老人保健施設の役割は皆様がよくご存じのことと思います。「介護を必要とするお客様の自立支援と家庭への復帰」を目指すために、医師による医学的管理のもと、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリテーションの他、栄養管理による食事、入浴などの日常サービスまで、多職種共同で提供しています。お客様お一人お一人の状態や目標に合わせたケアサービスを専門職員が行い、夜間でも安心できる体制を整えています。また、中にはご家族との関係が希薄になっている方もおられますので、セラピストがカバーすることで、質の高いサービスに繋げていきたいと思っております。

介護老人保健施設 アゼーリみずすみ は、平成8年4月に開設しました。島根県には過疎地も多く、高齢化率が山間部で50%に達している地域もあり、老老介護が現実の問題となっているにも拘らず、ニーズに十分対応できていない状態でした。その中で、浜田市三隅町の皆様からの強い思いをいただき、ご自宅の近くで介護サービスを受けられる様にとの思いから、アゼーリみずすみを開設し22年目を迎えます。施設名のアゼーリとはアゼリア(つつじ：三隅町の町花)、みずすみが、三隅(水澄み=みずすみ)の由来からと思われれます。

医療法人社団水澄み会は、アゼーリみずすみを母体とし、現在は島根県内10拠点で31事業体運営しており、東は松江市、西は益田市まで、1日に約550名の支援が行える体制を整備しています。当施設は、基本的にお客様の在宅復帰を目的とした施設ですが、現在では老健に於いても、病気で亡くなられた時に看取り加算が取れる事となりましたので、医師が常駐している事で、医療依存度が高い方の受け入れに対応でき、入所(短期を含む)は一般棟 60名、認知症棟 40名、通所リハビリテーション 50名、認知症対応型通所介護 12名の幅広いニーズに応えられる施設づくりを進めてきました。浜田市は勿論、益田市、江津市、萩市などからも広くお迎えしています。

施設を利用していただいている方への健康管理は、私どもの最も大切な仕事のひとつです。早期の症状の発見と、早期治療への誘導を常に心がけています。施設内の集団感染症についても、ここ数年間は発生していません。



施設長は浜田医療センターを退職後、平成23年度から当施設に赴任していますが、重症の疾患に罹られた方は浜田医療センターに紹介させていただいていますし、お客様のかかりつけ医である浜田市、那賀郡の医師会の先生方にも大変お世話になっており、感謝いたしております。

前に述べましたように医療法人社団水澄み会は、島根県内において、より多くの高齢者の方々の支援を行うため、施設の介護、看護、医療の質を高めていくように努めています。本年度8月1日から、住宅型有料老人ホームを転換といった形で、法人初の小規模多機能型ホームを新しく設立します。介護老人保健施設アゼーリみずすみを中心として新たなサービス形態を増やし、さらに柔軟性のあるサービスの提供と地域包括ケアシステム構築への貢献に繋げていきたいと考えています。

私達は、サービスの質を高めていくためのツールの一つに「ISO 9001」を認証取得し、きちんと課題を改善する仕組みをもってサービス提供を行っています。今後も時代の流れとともに、見方、考え方を柔軟に変えながら、当施設の理念である「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」の実現に向けて職員一丸となって取り組み、アットホームな雰囲気の中で、その人らしい生活支援へと繋げていきたいと考えていますので、皆様の今後のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



医療法人社団
介護老人保健施設
アゼーリみずすみ

〒699-3213
島根県浜田市三隅町河内451-1
☎0855-32-3911 FAX 0855-32-3912

お問い合わせ受付時間/月～金 8:30～17:30

研修医だより

命を守り育む医師を目指して



初期研修医2年目 徳留 純平

(H28年3月鳥取大学医学部卒)



みなさん、こんにちは。今回の研修医便りを担当させていただきます。初期臨床研修医2年目の徳留純平と申します。よろしくお願いいたします。

さっそくですが自己紹介をしていきたいと思います。私の出身は山口県岩国市で、高校までは地元で過ごし、大学は鳥取大学医学部医学科を卒業いたしました。私は鳥取大学医学部附属病院の初期臨床研修プログラム所属の身ですが、数か月の間、他病院でも研修が可能なたすきがけという制度を利用して浜田医療センターに1月～6月までの6か月間、研修医として働かせていただいています。

浜田には今まで訪れたことはなく、研修のために初めて参りました。来たときは、大変な田舎だなと思った記憶がありますが、料理はおいしく、人もいい方々ばかりで米子に帰ることが決まっていますが、今では寂しい気持ちでいっぱいです。

浜田医療センターに来てからはさまざまな経験をさせていただきましたが、大学病院との違いを感じる事が非常に多かったというのが率直な感想です。私が感じたことを2つほど紹介させていただけたらと思います。一つ目が救急外来です。ここ浜田は一次救急から三次救急、つまり軽傷から重症までをすべて引き受けているため、さまざまな症状・疾患の患者さんが来られます。大学病院の救急は基本的に三次救急のみの受け入れとなっているので、軽傷の患者さんを診察する機会がなかなかありませんでした。そのため私は浜田医療センターに来て初

めて初期対応させていただく症状の患者さんが多くおられ、いままで勉強したことや経験してきたことを生かすことができたこともありましたが、最初のころはなかなかうまくいかないことのほうが多かったと思っております。しかしながら、上級医の先生方にご指導いただきながらさまざまなことを経験させていただきました。

二つ目が診療科同士の垣根の低さです。大学病院という大きな病院とは違い、相談したいことがあればすぐに、他の診療科の先生に気軽に相談できる環境が浜田医療センターにはありました。それはつまり患者さんの状態に応じて適切に迅速に対応することが可能であるということではないかと思えます。他にも様々な違いはありますが、大学病院のみでの研修だけでは分らなかったことだと思うので、とてもいい経験を積めたのではないかと思います。

研修は2年間で終わりですが、来年度から私は心臓血管外科へ進む予定となっております。そのためにはまだまだ学ばなければならないことは多くあり、これからもより貪欲にさまざまな経験を積んでいければと思っております。原稿を執筆している現在、浜田を去るまであと数日となってしまいました。ご指導いただきました上級医の先生方にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。最後になりますが拙い文章にお付き合い頂きありがとうございました。これから次第に暑い時期となりますが体調を崩されませぬよう、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

脳卒中リハビリテーション 認定看護師の活動について

脳卒中リハビリテーション認定看護師 5階北病棟 折口 智美

脳卒中リハビリテーション認定看護師を取得し6年目となりました。その間、当院では2年前に回復期リハビリテーション病棟が立ちあがりました。

私は現在、回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。脳卒中は突然発病し、機能障害を残す病気です。また基礎疾患（高血圧、糖尿病、高脂質異常症）や生活習慣（偏った食事、運動不足、喫煙、多量飲酒）などの要因が重なり発症します。

脳卒中を起こしてもRe（再び）Habillis（適した）＝リハビリテーションで機能は回復します。脳卒中リハビリテーション看護は、患者や家族が安心して闘病し、社会復帰を果たすことができるよう病棟スタッフと共に日常生活支援を目標としています。また再発予防では基礎疾患管理や生活習慣を見直し健康認識が高められるよう取り組んでいます。

活動内容

1. 生活にそったリハビリ看護

脳卒中という病態は、さまざまな障害を残します。意識障害（意識の低下）運動麻痺（片麻痺）、言語障害（言葉が話せないまたはわからない）、感覚障害（しびれ）、高次脳機能障害などが主な症状として残ります。

しかし、リハビリテーションで機能を回復させることは可能です。私は、色々な患者さんご家族に出会いました。病棟では笑顔や時には涙を流しながら懸命にリハビリをされている姿やご家族の熱心な面会にいつも元気をもらっています。私は退院後の生活を予測し、患者さんご家族の希望にそった日常生活の拡大にむけた支援が必要であると思っています。病棟看護師とリハビリのスタッフと共に患者さんの日常生活行動の拡大支援をこれからも続けていきます。



回復期リハビリテーション病棟の様子



2. リハビリテーション栄養

リハビリテーションが有効に行われるためには、「リハ栄養」が重要なカギとなります。元気な体を作るためには、まず身体の栄養を整えなければなりません。身長、体重推移、食事内容・食事量、基礎代謝（生命維持のために必要な生理・代謝機能の必要なエネルギー）を観察します。そして、リハビリのスタッフにリハビリ内容を確認し活動量を測定します。患者さまの活動量（基礎代謝と日常生活動作とリハビリの訓練）にあった栄養が提供できているか他職種と話し合いながらリハビリが有効に行えるよう「リハ栄養」に取り組んでいます。

3. 脳卒中の再発予防

脳卒中は我が国における死亡順位の第4位です。また介護を必要とする順位の第1位です。脳卒中は再発しやすい病気で再発すると重症化しやすくなります。まず基礎疾患の管理（自己血圧測定、内服の継続、規則正しい生活など）と今までの生活習慣を見直し改善できるような患者さんと考えていきたいと思ひます。

最新鋭 CT装置 が稼働!

Computed
Tomography



当院ではCT装置の更新に伴い、平成29年5月から最新鋭のCT装置が稼働しています。そこで今回導入された最新鋭のCT装置をご紹介します。

新しいCT装置には3つの大きな特徴があります。

① 1回転で撮影できる範囲が5倍に広がりました。 (3.2cmから16cmに)

CT装置は身体の周りをX線発生器とX線を受け取る部分(検出器)が回転しながら画像を撮影する装置です。この検出器の部分が以前は64個でしたが、大幅に増えて320個になりました。これにより1回転で撮影できる範囲が広がったので、息を止めてもらう時間が短くなり、特に呼吸の苦しい患者さんの負担はととも軽減されました。

② 1回転に必要な時間(回転スピード)が早くなりました。 (0.35秒から0.275秒に)

新しいCT装置は回転スピードが超高速になり、心臓のような動く臓器の撮影も画像にゆがみやひずみが生じにくくなりました。また、動く可能性のある小児や高齢者の検査にも強くなりました。

③ X線の被ばくが大幅に減少しました。 (従来の1/4程度に)

検出器の性能の向上と、画像を作成するための最新計算技術(逐次近似法)の搭載によりX線による被ばくが減少しました。

その他にも、検査に使用する造影剤(臓器の写りを変え、病気が解りやすくなる薬)の量を減らすことができるので身体への負担を軽減できます。また、最大16cmの幅で同じ位置の撮影を繰り返し行うことで時間経過に伴う血液の流れや動きを観察する検査(4D撮影)も可能になりました。このように今回のCT装置の更新は患者さんの負担軽減はもちろんですが、これまでできなかった新しい検査も可能になり、小児や高齢者をはじめとするすべての患者さんにとって大変有用な検査を安心して受けていただけるようになりました。

次に検査内容および画像の一部をご紹介します。

●頭部

造影剤を使用して血管を撮影することで、くも膜下出血の原因となる動脈瘤の有無や形状、大きさの情報を得ることができます。



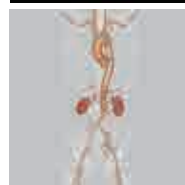
●心臓

造影剤を使用して心臓を栄養する冠動脈を撮影することで、心筋梗塞や狭心症の情報を得ることができます。



●大血管

造影剤を使用して大動脈を撮影し、動脈瘤や大動脈解離の有無や詳細な情報を得ることができます。



Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

Hulaが持つ美しさや愛情 その熱い思いを伝えたい

Halau Hula O Lehua 'Ula 島根担当 hina (ひな)

私は、浜田市で生まれ、両親の仕事の都合で広島で育ちました。幼少から三隅で暮らす祖父母のことが大好きで、ずっと島根で暮らしたいと思っていました。5年前に縁あって国府町でフラ・タヒチアンダンス教室「Halau Hula O Lehua' Ula」を始める事になりました。

私がフラダンスに出会ったのは、東京でヨガのインストラクターをしている時でした。当時、私は病気を患い、手術をしたこともあって健康を強く意識するようになりました。そんな時にヨガと出会い、ヨガ教室で働きながらヨガのインストラクターになりました。教室では、恵比寿店の店長として沢山の方にヨガを教えていましたが、教室の新たな試みでフラを始めることとなり、その時、初めてフラに出会いました。そのとき見たフラは、私がイメージする、ゆったりとしたフラとは違い、楽器を使い、歌い、筋肉も体力も使う激しい踊りでした。当時は知りませんでしたが、そのフラは「カヒコ」と言い、大きく2種類に分けられるフラの中でも、古くから伝わる古典フラで、元々は男性が踊り神様に捧げる神聖なものとして踊られていました。いま思うと、私がフラに惹かれたのは、子どもの頃から慣れ親しんでいた「石見神楽」を、そのフラに感じたのかもかもしれません。

その後29歳の時、実家の広島へ戻り、現在一緒にフラ教室をやっているパートナーとフラをもっと学びたい、ダンスに込められた美しさや愛情、熱い思いを沢山の人に届けたいと思う気持ちを胸に、本場ハワイへ修行に行きました。そこで生涯の師となるレファ・カルバルホ先生に出会い現在の教室名「Halau Hula O Lehua' Ula」を33歳の時に授かりました。正式にフラダンス教室としては始めることとなり、その頃から島根には月に一度、祖父母の暮らす三隅町で教室を開き、フラの魅力を伝えていました。そんな日々の中で今の旦那様に出会い、旦那様の実家である国府町で暮らすことになりました。

そして、このまちでフラ教室を開くため、場所を探していたところ、すぐに今の場所が見つかりました。そこは部屋から海が見える素敵な場所で、その出会いに運命を感じるほどでした。元々は飲食店だった広いお座敷も家族や友人と一緒にスタジオに手作りで改装し、素敵なスタジオが完成しました。それは、ずっと子どもの頃から思っていた、島根で暮らしたいという願いが現実になった瞬間でした。



現在は、広島をパートナーが担当し、島根を私が担当しています。今では、教えた生徒さんたちがインストラクターとなり三隅や江津、県外では岡山や福山などで活躍するまでになり、生徒さんの数も広島と合わせて約100名を超えてきました。最近ではそのフラの魅力で、私たちの暮らすこのまちを、もっと元気にしたいと思い、この地では初めてとなる「海フェス」を地域の皆様と企画し7月に開催させていただきました。天候にも恵まれ、多くのご来場者を迎えることができ、無事、イベントも成功に終わることができました。私たちは、フラにも、このまちにも、私たちが想像する以上に、人の心を動かす力があると感じました。

病気を患い、子どもができないかもしれない、そんな不安の中でヨガをはじめた私が、フラと出会い、今ではずっと暮らしたかった島根で暮らすことができ、二人の子どもも授かることもできました。そして、私の故郷となったこのまちで、今は地元の皆さんと一緒にまちづくりにも関わらせていただいている。私にとってフラは、私以上に私の全てを知っている。そんな不思議な力があるように感じています。最後になりますが、私たちにフラを教えてくれた先生、そして私たちに幸せを与えてくれたこのまち、そこで暮らす皆様に、心から感謝いたします。



看護学校だより

浜田医療センター附属看護学校 <http://www.hamakan-nh.jp/>

「指導者さんに見てもらおう」

校内技術演習「指導者さんに見てもらおう」は臨床と学校が連携して看護学生を育てたいという思いで企画され、今年で8年目になります。

生活援助技術演習の中の環境調整技術の一環として、看護技術を習い始めたばかりの1年生が療養患者のベッドメイキングに取り組みますが、その技術練習に臨地実習指導者が参加し、原理原則をおさえた上で、自らの経験に基づく実践知を伝えるという内容です。

演習で指導者と学生が交流を持ち、お互いを知ること、その後に予定されている基礎看護学実習Ⅰ(そのⅠ)をより効果的に行うことができるようになるというねらいもあります。

ベッドメイキングの演習は4月末から本格的に始まりましたが、5月18日の本番に向け、学生はグループになり一生懸命技術習得に取り組んでいました。指導者さんに見てもらおうことがこんなにも良い刺激になるのかと感心しました。2人の実施者、その説明者、記録者、案内係など役割を決め、自分の役割を精一杯果たしていました。当日

は指導者さんを玄関でお迎えし、会場までご案内して技術演習がスタートしました。実施者はかなり緊張していましたが、指導者さんから優しくそして的確なアドバイスをいただき、終了後は充実感で表情が輝いていました。指導者さんも思わず身を乗り出して技術のポイントを説明するなど、実習前の交流の場としてとても良い雰囲気でした。

「指導者さんに見てもらおう」のねらい通り、学生は原理原則に基づく臨床での実践を体験することで技術習得や実習への意欲が増し、指導者は実習でも指導する学生の個性や状況を把握し、指導のヒントを得られたのではないのでしょうか。これからもこの企画を続けていきたいと思えます。

(担当教員：隈部 直子)



演習全体の様子



指導者さんからアドバイス



発表場面





指導者さんからアドバイス



技術のふり返し場面

指導者



5階北病棟 鳥越千尋

今年度、初めて看護学実習で実習指導を担当することとなりました。

今回、学生の演習をしている場面に参加して、過去私自身も学校で学んだ基本技術を振り返る機会になりました。看護技術は繰り返し経験していくことが大切で、繰り返すことで技術が身に付き、工夫点にも気づくことができます。

学生の実践の後、意見交換を行う時間では、学生から多くの質問がありました。また、その後に一緒に体験することで工夫点を見つけられていたと感じます。

今回の演習に参加した事で、学生の思いを直接聞くことができました。その中でも、実践することで疑問を多く発見することができる気づき、実習中も体験ができるように調整していきました。今回練習したことや、学んだことを活かしてほしいと思います。

学生



65期生 細見一稀

指導者さんにベッドメイキングを見ていただき、普段私たちが授業で習ったことや練習したことに加えて、「どうやったらしわがなく上手くシーツを伸ばせるか」「どうしたら患者さんに合わせたベッドが作れるか」などの細かいところまでアドバイスしていただくことができました。

実際に医療現場に出た時に学んだことを活かしていけるよう、日頃から練習を繰り返して、患者さんに快適な環境が提供できるよう、技術を身に付けて行きたいと思いました。

浜田医療センター附属看護学校 OPEN SCHOOL

平成29年7月29日(土)

●午前：小学5・6年生、中学生対象・・・9:00~11:10(受付8:30開始)

午前プログラム：ハンドマッサージ体験/沐浴体験/処置体験/看護学生との交流会

●午後：高校生対象・・・13:00~16:30(受付12:30開始)

午後プログラム：ハンドマッサージ体験/沐浴体験/学校紹介・進路相談/処置体験
聴診体験/看護学生との交流会

お電話、FAXでの団体の応募締切は7月21日(金)まで!
(お電話またはホームページからの申込みは、7月26日(水)まで可能です)

※当日は、上履き用の靴と靴入れ、筆記用具をご持参ください。また、動きやすい服装(ジャージなど)でご参加ください。

[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構

浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 JR浜田駅前 浜田医療センター隣

☎0855-28-7788(オープンスクール担当) FAX.0855-28-7789



スマホをご利用の方は
こちらから



- 山陰本線浜田駅より徒歩3分
- 広島駅から浜田道高速バスで約1時間50分
- 山口方面から/新山口-(山陽本線)-益田-(山陰本線)-浜田
- 松江方面から/松江-(山陰本線)-浜田 特急約1時間40分

来場者用の駐車場はございませんので、ご参加の際には、公共交通機関、民間の駐車場などのご利用をお願いします。

<http://www.hamakan-nh.jp/>

平成30年度 入学試験情報

平成30年度から「社会人入学試験」を開始

ともに生きる幸せを共感しあえる天職がある。それが看護という職業。最先端の医療技術と永遠に変わらない人を想う気持ちとで結ぶ仕事。人に寄り添い、人の持てる力を引き出すことが看護の仕事。人は心配がなく幸せに生きることが願いです。

人が悩み苦しんでいるときに頼りにするのが人の手のぬくもりです。島根県西部地域の中核をなす浜田医療センターを実践の場に、人と人との間に立ち、笑顔で心を結ぶ、豊かな人間性あふれる看護師を目指しませんか。



平成30年度
入学試験

- 特別推薦(指定校)
- 一般推薦・社会人
- 一般入試

平成29年10月12日(木)
平成29年11月15日(水)
平成30年 1月18日(木)

[お問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構
浜田医療センター附属看護学校

〒697-8512 島根県浜田市浅井町777-12 ☎0855-28-7788

－ 資料請求は公式ホームページから －

<http://www.hamakan-nh.jp/>

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

- JR山陰本線 浜田駅より徒歩1分
- 高速バスの場合： 広島駅から浜田道高速バスで約1時間50分
- JRの場合 【山口方面から】 新山口ー益田ー浜田〈特急〉約2時間10分
【松江方面から】 松江ー(山陰本線)ー浜田〈特急〉約1時間40分



スマホを
ご利用の方は
こちらから



ボランティア総会の開催報告

庶務班長 紀川 収次



5月19日、研修センターにおいて「平成29年度 医療センター・ボランティア・はまだ 総会」が開催されました。

当日は13名のボランティア会員と院長はじめ8名の職員が出席し、28年度の活動報告・振り返りと29年度の活動について意見交換が行われました。28年度の会員全体の活動時間は、前年度を235時間上回る1800時間に達するなど積極的な活動がされました。

会長からは「これからも石見の医療を守るという気持ちで引き続き活動していきたい」と今後の抱負が語られると同時に、「平成13年の活動開始から15年経過し、会員の高齢化などの問題もあります」と心配も述べられました。

それに対して、院長からは「日々の活動に感謝しています。ボランティア活動を当たり前と思わず、病院としても活動に積極的に協力していきたい」と回答がありました。

医療センター・ボランティア・浜田は外来における患者さんへの援助活動、緩和ケア病棟でのイベント補助、外来・緩和ケア病棟の花壇の手入れなど目に見える形で活動だ

けでなく、患者さんが病院職員には直接言えないご意見の架け橋役になるなど、陰に隠れた貢献も大きく病院にとって貴重な存在です。

また、その活動により「県民いきいき活動奨励賞」や「浜田市市民憲章表彰」を受賞された伝統ある団体です。病院としてもその活動を病院外へ紹介して広報活動を行うなど新規会員が増えるように積極的に協力していきたいと思



平成29年度 市民公開講座の 予定について

浜田医療センターでは、地域住民の皆様を対象に、市民公開講座を定期的で開催しています。平成29年度の予定は以下のとおりです。演題名など詳細が決まり次第お知らせします。皆様のご来場をお待ちしています。



5月16日(火) **「外来通院でできる抗がん剤治療」**

渡邊がん化学療法認定看護師

7月18日(火) **「認知症ってなんだろう？」**

～認知症をきたす病気と予防・対応について～

浜口認知症認定看護師

9月25日(月) **演題名未定(乳がん)**

吉川乳腺科部長

11月15日(水) **演題名未定(心不全)**

井上慢性心不全認定看護師

1月17日(水) **演題名未定(整形外科疾患)**

柿丸整形外科部長

面会について

患者さんが療養に専念していただくため、面会時間を次のとおりとさせていただきます。面会時間以外はお断りすることとなります。

面会時間 / 14:00~18:00

- 正面玄関施設時間(21:00~6:00)の面会は入館許可証の交付が必要です。
- ご家族の方で、上記の時間以外での面会が必要な場合は、病棟看護師に申出の上、許可を受けてから面会するようお願いいたします。



1. 正面玄関施設時間(21:00~6:00)の面会について

昨今の医療機関におけるセキュリティー管理の必要から、原則正面玄関施設時間での面会はできません。ご家族で事情により面会が必要な方、病院からの連絡により来院された方等は、お手数ですが救急受付にて受付票を記載いただき、院内通行証を受け取られてから病棟看護師に申し出をお願いします。院内通行証は退出時に救急受付へご返却ください。また、バリアードの外の区域に入らないようお願いします。

2. 駐車場の利用について

ご面会の方は通常の駐車料金のお支払いが必要となります。ただし、入院・退院の日、手術の当日、病院からお願いをして来院いただいた時、付き添いの方につきましては無料の

取り扱いとしますので、病棟にて確認印を受けた後、外来受付5番窓口又は救急受付にて無料処理を受けてください。

4. 面会時の注意点

- 面会の際は必ず病棟スタッフステーションにお申し出ください。
- 感染予防のため、面会時は必ず手洗いや手指消毒をお願いします。
- 熱・咳・鼻水・下痢など感染症状がある時は、面会をご遠慮ください。
- 多床室での面会の際は、他の患者さんへのご配慮をお願いします。病棟には面会場所としてデイルームをご用意しています。
- 患者さんの希望により、あるいは病状によって面会をお断りすることもあります。
- 当院は敷地内全面禁煙です。建物内はもちろん、敷地内での喫煙はできません。



健康レシピ

夏野菜のかき揚げ

枝豆は未熟な大豆を収穫したもので、大豆同様、良質なタンパク質を豊富に含んでいます。枝付のまま茹でて食べる食べ方は、日本で生まれた食習慣であり、夏の食材として古くから親しまれています。とうもろこしは米、麦と並ぶ三大穀物の1つで、ミネラル類をバランスよく含んでいる食材です。今回は夏に旬を迎える枝豆ととうもろこしを使った夏らしいかき揚げのご紹介を致します。

1人前

266kcal



作り方 材料(4人分)

- | | |
|---------------|--------------|
| ★むき枝豆 …… 40g | ★桜えび …… 10g |
| ★とうもろこし… 40g | ★いかそうめん… 80g |
| ★玉ねぎ …… 160g | ★ししとう …… 8本 |
| ★小麦粉 …… 100g | ★卵 …… 1個 |
| ★冷 水 …… 140cc | |

- ①玉ねぎは半分に切り、薄くスライスする。
 - ②ボウルに玉ねぎ、むき枝豆、とうもろこし、桜えび、いかそうめんを入れ大さじ1程度の小麦粉と混ぜ合わせる。
 - ③別のボウルに卵、冷水、小麦粉を入れ、さっくりと混ぜ合わせた衣を作る。
 - ④③に②を入れて絡める。
 - ⑤170~180度に熱した油の中に、②を一つまみずつ入れ揚げる。
 - ⑥ししとうは水気を拭き取り、色よく素揚げにする。
 - ⑦③④を盛り付けて完成。
- ★抹茶塩などを振ってお召し上がりください。

募集 平成29年度 看護師・助産師

平成29年度採用の看護師・助産師を随時募集しております。
応募資格は下記のとおりです。

■**応募資格** 看護師または助産師の資格を有する方、平成29年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方。

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)
担当: 副看護部長 または 管理課人事担当

看護補助者(メディカルアシスタント)〈非常勤職員〉

みなさんは看護補助者という仕事をご存知ですか?看護補助者は医療の現場で看護師のサポートをする仕事です。看護補助者として働く際は、**資格は必要ありません**。やりがいを感じることができる素敵な職業です。幅広い年齢層の方が元気に働いています。

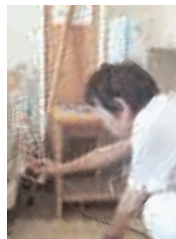


■**内容** 看護補助業務(若干名) ※1年契約の更新有り(最長3年)

■**勤務時間** 週32時間 ※週32時間となるようシフトを組みます。

《主な仕事内容》

メッセンジャー 環境整備 食事の配膳 シャワー浴



①7:00～13:30 ④11:00～17:30
②7:00～15:00 ⑤11:00～19:00
③9:00～15:30 ⑥12:30～19:00

■**休憩時間** 30～60分

■**給与** 時間給/880円
諸手当/通勤手当、超過勤務手当
賞与/年2回6万円程度(前年度実績)
社会保険等/健康保険、雇用保険

研修内容

- ・医療チームの役割について
- ・医療安全 ・感染予防対策
- ・車いす移送、食事介助、入浴介助など日常生活にかかわる業務の講義と実技演習など

院内の研修も充実しているので、**初心者の方も**大丈夫です。勤務は週32時間で、遅出の時は朝ゆっくりできます。平日にも休日があるので用事もすませることが可能です。

奨学生募集!

看護大学・専修学校等を卒業後、当院に常勤看護師等として勤務する意志のある方へ奨学金を貸与いたします。

貸与
金額

年間 **60**万円

貸与
期間

奨学生となった日の属する年度から看護大学・専修学校等を卒業する年度までの期間
※最長4年間

貸与が受けることができる方

- 看護大学・専修学校等に在学する方
- 看護師または助産師免許取得後、看護師または助産師として浜田医療センターに勤務する意志のある方

貸与決定までの流れ

- ① 応募必要書類の提出
- ② 書類選考・面接
- ③ 貸与決定通知の発送
- ④ 誓約書・振込口座依頼書の提出
- ⑤ 指定口座に資金振込

■奨学生の資格の取消について

- 次に該当する場合は、その時点で貸与は解除されます。
貸与した奨学金は、すみやかに全額返還していただきます。
- ① 看護大学・専修学校等を中途退学した場合
 - ② 看護大学・専修学校等で新たな学年に進級できない場合
 - ③ 浜田医療センターに勤務する意志がなくなった場合
 - ④ 貸与を辞退された場合
 - ⑤ 国家試験に不合格となった場合

応募期間

原則、貸与を希望する年度の4月末まで
※応募期間後の貸与希望は下記にお問い合わせください。

応募必要書類

- 奨学生申請書
- 在学証明書(学年が明記してあるもの)
- 履歴書

返還債務
の免除

- 看護大学・専修学校等を卒業後、当院において常勤看護師または助産師として貸与期間相当勤務した場合は全額免除します。
- 貸与期間に満たないで離職した場合は、在職期間に応じて免除します。
※残余期間分については返還の必要があります。

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 **浜田医療センター**
〒697-8511 島根県浜田市浅井町777-12
☎0855(25)0505 (平日9時～17時)
担当: 管理課

浜田医療センター 外来診療担当医表

平成29年6月6日現在

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	北條 宣政	河田 公子 ^{※2}	北條 宣政	河田 公子 ^{※1}	北條 宣政	※1 診療時間9:30~ ※2 診療時間10:00~12:00
	再診	河田 公子 ^{※1}	-	-	-	-	
血液・腫瘍内科		-	島根大学より ^{※1}	-	島根大学より ^{※1}	島根大学より ^{※2}	※1 診療時間10:30~午前のみ 予約制 ※2 隔週(診療時間10:30~午前のみ) 予約制
腎臓内科		伊藤 孝史 ^{※1}	-	花田 昌也 ^{※1}	花田 昌也 ^{※2}	花田 昌也 ^{※3}	※1 診療時間9:30~12:30 ※2 第1・3・5木曜日(診療時間 午前中) 予約制・紹介患者のみ ※3 診療時間9:30~12:00 予約制
特殊外来		-	-	-	透析予防外来 ^{※4}	-	※4 第2・第4木曜日 予約制
内分泌・代謝内科		-	-	-	島根大学より [※]	-	※ 予約制
呼吸器内科	1診	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	島根大学より [※]	柳川 崇 [※]	柳川 崇 [※]	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
	2診	-	島根大学より [※]	-	-	-	
神経内科		-	島根大学より	-	-	木谷 光博 [※]	※ 午後 予約制
消化器内科	初診	長谷川 亮介	生田 幸広	濱本 航	八杉 晶子	- ^{※2}	※1 毎週月曜日再診休診 ※2 毎週金曜日初診休診 ※3 予約制
	再診	- ^{※1}	長谷川 亮介	八杉 晶子	濱本 航	生田 幸広 ^{※3}	
循環器内科	初診	飯田 博 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	松田 晋 ^{※1}	特殊検査日 (休診)	明石晋太郎 ^{※1}	※1 予約制・紹介患者のみ ※2 予約制
	再診	松田 晋 ^{※2}	-	明石晋太郎 ^{※2}	-	飯田 博 ^{※2}	
小児科	初診	担当医	担当医	担当医 ^{※1}	担当医	担当医	外来担当医 齋藤恭子・田部有香 ※1 紹介患者又は予約のみ ※2 毎週火曜日 1才以上 診療時間10:00~ 予約制 1才未満 診療時間13:30~ 予約制 ※3 予約制 ※4 毎週金曜日 診療時間13:00~ 退院時予約制 ※5 毎月第1・第3木曜日 内分外来 受付時間13:30~15:00 予約制 ※6 毎月第3水曜日 神経外来 診療時間10:30~ 予約制
再診	担当医	担当医	担当医 ^{※1}	担当医	担当医	担当医	
午前予約外来		-	予防接種 ^{※2}	-	-	-	
午後予約外来		フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	予防接種 ^{※2}	フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	フォローアップ外来 (再診) ^{※3}	1か月健診 ^{※4}	
特殊外来		-	-	-	内分外来 ^{※5}	-	
外科	1診	栗栖 泰郎	永井 聡	栗栖 泰郎	渡部 裕志	高橋 節	※ 診療時間8:30~14:00 予約制
	2診	-	-	清水 翔太	-	-	
午後・特殊外来		-	-	-	ストーマ外来 [※]	-	
乳腺科		吉川 和明	-	-	吉川 和明	吉川 和明	
整形外科	1診	渡辺 洋平	柿丸 裕之	手術日	柿丸 裕之 (脊椎外来) ^{※1}	手術日	※1 予約のみ
	2診	担当医	牛尾 公典	-	渡辺 洋平	-	
関節リウマチ外来		-	近藤 正宏 ^{※2}	-	-	-	※2 隔週火曜日 紹介患者かつ予約のみ
形成外科		松江日赤より [※]	-	-	-	-	※ 第2・第4月曜日午前のみ 診療時間10:30~ 予約制
脳神経外科		加川 隆登 [※]	手術日(休診)	木村 麗新 [※]	-	-	※ 予約制・初診は紹介患者のみ
呼吸器外科		小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	手術・特殊検査 (休診)	小川 正男	
心臓血管外科		石黒 眞吾	手術日(休診)	堀江 弘夢	手術日(休診)	石黒 眞吾	
皮膚科		進藤 真久	手術・特殊検査 (休診)	進藤 真久	進藤 真久	進藤 真久 [※]	※ 予約のみ
泌尿器科		手術日(休診)	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	盛谷 直之	
産婦人科	1診	小林 正幸	矢壁 和之	平野 開士	矢壁 和之	小林 正幸	※1 (診療時間9:00~10:00) 予約制 ※2 (診療時間13:30~15:00) 予約制
	2診	平野 開士	平野 開士	小林 正幸	平野 開士	矢壁 和之	
午後外来		-	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	乳房ケア外来 ^{※1}	※3 (診療時間14:00~15:30) 予約制
産褥外来		超音波外来 ^{※2}	助産師外来 ^{※3}	助産師外来 ^{※3}	-	産褥外来 ^{※4}	※4 (診療時間13:00~15:00)
眼科		井上真知子	手術日(休診)	井上真知子	井上真知子	井上真知子	
耳鼻咽喉科		-	鳥取大学より ^{※1}	-	-	鳥取大学より ^{※1}	※1 午前のみ(診察時間8:30~12:00) 予約制・初診は紹介患者のみ
午後外来		鳥取大学より ^{※2}	-	-	鳥取大学より ^{※2}	-	※2 午後のみ(受付時間12:00~16:30) 診察時間13:00~17:00 予約制
放射線科		吉田弘太郎	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	特殊検査日 (休診)	吉田弘太郎	
緩和ケア外来		-	担当医 [※]	-	-	-	※ 診療時間13:30~15:00
リハビリテーション科		-	-	井上 幸哉 [※]	-	-	※ 診療時間11:00~12:00 完全予約制・嚥下機能評価の紹介患者のみ
麻酔科 (ベインフリック)		-	土井 克史 [※]	-	-	-	※ 診療時間 9:30~ 予約制・紹介患者のみ
歯科口腔外科		小池 尚史 ^{※1}	小池 尚史 ^{※1}	手術日	小池 尚史 ^{※1}	小池 尚史 ^{※2}	※1 予約制・初診は紹介患者のみ ※2 診療時間 8:30~11:00 予約制・初診は紹介患者のみ ※3 午後のみ・予約制
		-	-	-	-	専門外来 ^{※3}	

診療受付時間／午前8時15分～午前11時00分(再来受付機は午前8時より稼働)

編集後記

暑さが日に日に強くなってきました。夏本番も間近です。うだるような暑さに少し動くと汗が出てきます。この時期は特に疲れやすい気候なので、からだには十分に気を付けたいものです。ということで、健康診断の数値を気にしつつも、おいしいものを食べて、飲んで暑い夏を頑張ってください。 (K・U)

表紙/JR浜田駅(TWILIGHT EXPRESS 瑞風)

撮影/河野 義信(浜田医療センター)



浜田医療センター情報誌
スライム&ハート

38号(2017年7月)発行責任者/浜田医療センター

浜田市浅井町777番地12

浜田医療センター院長 石黒 眞吾

TEL 0855・25・0505

制作/株式会社 D52